|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | つかむ段階 | 調べる段階 |
| 配時 | ６ | ８ |
| 学習活動 | **１　有明海のことについて、知っていることを出し合う。**　・有明海の有名な生き物には、ムツゴロウがいる。　・有明海で作られる海苔を食べたことがある。　・めずらしい生き物がすんでいる。**２　「有明海の生き物を調べる」という課題をつくる。**　○　GTから有明海にすむ生き物について教えてもらう。　　※ GT「有明海を学ぶ会」の柿川先生・有明海には、わたしたちが知らない生き物がまだまだたくさんいるみたいだね。実際にどんな生き物がいるか見つけてみたいな。　○　有明海の干潟に行き、生き物調査を行い、見つけた生き物について、ＧＴから説明を聞く。・有明海には、わたしたちが知らなかった生き物がたくさんいるね。・シオマネキを見つけたよ。シオマネキが何を食べるか教えてもらったよ。シオマネキのことについて、もっと調べてみたいな。**３　四校の地域の地理的特徴を基に、調査対象を役割分担する。**　・みなと小学校：有明海の海中や汽水域　・天領小学校　：有明海の干潟　・駛馬小学校　：諏訪川中流　　　・天の原小学校：諏訪川上流（野間川）　→　サワガニ・アメンボ・ゲンゴロウ・タカハヤ | **４　野間川にすむ生き物について調べる。**　○　野間川の生き物調査をする。※ GT「有明海を学ぶ会」の柿川先生・ゲンゴロウを見つけたよ。ゲンゴロウは、絶滅危惧種で珍しい生き物だと教えてもらったよ。他の学校の友だちに教えたいな。　・野間川にいた生き物は、干潟にはいなかったね。○　野間川の生き物紹介の準備をする。　　〔紹介についての視点〕○　生き物について(焦点化：グループで生き物を一つずつ)　・住んでいるところ、食べ物、特長等○　海や川の楽しさについて　・海で多くの生き物を発見できること、面白い生き物がいること等○　活動を通して考えたことについて　・海や川の生き物が減っていると聞いたけど、どうしてだろう。等**【四校合同】(生物多様性)****５　それぞれの地域の川や海に住んでいる生き物について知り、それらを様々な人に知ってもらうという課題を設定する。**○　四校でそれぞれ調べた生き物の生態について交流する。　・野間川にいた生き物の特徴を絵や言葉で説明できたよ。・同じ水の中の生き物でも、好んでいる環境が全く違うんだね。 |

３年生**「海や川の生き物のために」**（２５時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 深める段階 | 広げる段階 |
| 配時 | ６ | ５ |
| 学習活動 | **６　野間川や有明海の生き物のことを異学年の友達に発信するための方法を考える。**　○　紹介する対象・内容・方法について話し合う。　　※「調べる段階」の合同授業における紹介を基に作成する。　・見つけた生き物を写真や絵で伝えてみよう。　・それぞれの教室に行って、食べ物や特徴をまとめたカードを見せながら伝えよう。　・生き物が住んでいるところなど、クイズを入れても面白いかもしれないね。**７　話し合って決めた方法にしたがって、発信の準備をする。**○　担当グループに分かれて、模造紙やカードにまとめたり、紹介原稿を作ったりする。【アメンボ】　　(名前の由来)　食べ物の飴のにおいがするからアメンボになった。　　(色)　黒や茶色、ときどき赤色もいる。　　(食べ物)　ユスカリや小さい虫を食べる。　　【サワガニ】　　(生まれ方)　親と同じ形のまま生まれてくる。　　(すみか)　一生、水のきれいな谷川に住んでいる。　 【タカハヤ】　　(食べ物)　こけや小さい昆虫を食べる。　　(体)　目の近くにある小さいひげのようなもので音を聞いている。 | **８　四校で調べた川や海の生き物のことについて発信する。**○　校内や地域に呼びかける。　※ 校内掲示や公民館等への訪問で発信することが考えられる。　・他の学年の友達にも生き物のことを伝えることができたから、他にもたくさんの人に知ってもらいたいね。**【四校合同】****９　地域等に発信したこと（対象・方法・内容）について交流する。**・他の地域にも私たちが調べた野間川の生き物を紹介してもらえたね。私たちも野間川だけでなく、他の学校の近くの川や海の生き物を伝えることができたね。　・こんなに珍しい生き物がわたしたちの大牟田には住んでいるのだから、私たちが大人になってもこの生き物が住めるようにしていきたいね。○　これまでの学習を振り返り、まとめる。　・知らなかった生き物のことについて知れてよかった。　・生き物にはそれぞれすみやすい環境があることが分かったから、その環境をこわさないようにしなければいけない。　・自分たち人間のことばかり考えていてはいけない。 |